

# 旧中川水辺公園整備事業について

## 公園ができるまで

### 東京都の河川整備

旧中川は、以前は地盤高より川の水位が高い状態だったため、沿川は多くの水害に見舞われてきました。

そこで、東京都は「江東内部河川整備計画」に基づき、昭和46年から整備工事に着手しました。

水門を設置し水位を低下させたり、地盤を硬く改良し堤防を整備するなど約40年の歳月をかけて整備された河川敷を、新たな憩いの場所として、区は平成23年4月1日に「旧中川水辺公園」として開園しました。

### 桜と中川桜愛護会

河川敷の整備に合わせ、多くの方々に親しまれている旧中川の水辺を、より一層区民に親しまれ、魅力的な空間とするため、区の木である桜の植樹を平成13年度から行いました。

それを契機に平成15年6月19日に沿川の5町会で構成された「中川桜愛護会」が発足しました。平成22年4月13日には、3町会1自治会が新たに参加し、沿川の全町会による愛護会となりました。旧中川の桜は、平成13年3月に植樹した6本の桜から始まり、現在では約270本にもなり、区を代表する桜の名所の一つとなっています。

### 【整備の沿革（墨田区立花三丁目付近）】



水位低下前（昭和46年頃）



水位低下後（平成5年頃）



堤防整備（平成18年頃）

### 「中川桜愛護会」の理念

桜の保護をはじめ、旧中川の自然豊かな貴重な空間を大切にし、墨田区の桜の名所となるよう、美しい環境づくりを目指す。



旧中川水辺公園の秋の様子



旧中川水辺公園の春の様子



# 旧中川水辺公園整備事業について

## 整備内容



### 園路整備

公園全域の園路約2,550mを、北部から順次舗装整備しています。



幅員 4 m、カラーアスファルト舗装



# 旧中川水辺公園整備事業について

## 整備内容

### 防災広場の整備

公園のほぼ中央に位置する立花六丁目付近は、災害時に利用できるソーラー照明灯やマンホール型トイレなどを備えた防災広場として整備しました。

この広場は、災害時に緊急物資を輸送する立花六丁目船着場に近接しており、また、災害時の一時集合場所にも指定されています。

### 整備内容

- ・ソーラー照明灯 3基
- ・かまど型サークルベンチ 8基
- ・パーゴラ 2基
- ・テーブルセット 3基
- ・ベンチ型トイレ 1基
- ・マンホール型トイレ 2基
- ・水飲み 1箇所
- ・散水栓 1箇所
- ・サイン 2基



### 休憩施設、修景施設等の整備

公園全域に、ベンチやテーブルセット、花壇、水飲み、案内サイン等の整備を進めています。



中川桜愛護会と中川小学校のみなさんが、花壇をきれいに咲かせています。